



# マイスターII ドレーキップ窓

## 取付け説明書

●この説明書は、必ず施工される方にお渡してください。

### ■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

**▲ 注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲ 注意

- 本製品は複層ガラスを使用するため、かなりの重量(最大80kg)となります。障子の外れ、落下防止のため、下記事項をお守りください。
  - ・窓台は45×105mm以上、窓台下の間柱は30×105mm以上の材料で開口部を作ってください。
  - ・製品を運んだり取付ける場合、重量に見合った人数で作業を行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
  - ・指定のスクリーナで指定の本数を使って枠を固定してください。
- 下記事項は漏水の原因になるおそれがありますのでお守りください。
  - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。
  - ・外壁施工後、枠の取合わせ部には必ずシーリングをしてください。
  - ・開口部の水平・垂直及び取付け面の平面を正確に出して取付けてください。

### ■施工上のお願い

- 樹脂の表面は傷つきやすいので、ぶついたり、こすったり、しないでください。
  - この製品は樹脂で作られていますので、ストーブなどの熱源に置かないでください。
  - ソリ防止のため、樹脂形材を直射日光に当たった状態で保管しないでください。
  - 樹脂サッシの性能を生かすため、上・下躯体部に断熱処理をしてください。
  - シーリング材はシリコン系・ウレタン系が使用できます。ポリサルファイド系はサッシが変色するおそれがありますので、使用しないでください。なお、サッシとの接着性を高めるために、必ず指定のプライマーを使用してください。
- ※清掃が必要な場合には、ノルマルヘキサンを使用してください。それ以外の有機溶剤は使用しないでください。サッシが変色するおそれがあります。

### ■同梱部品一覧表

取付けねじセット (スクリーナ φ3×38)	ハンドル ハンドル台座カバー	ハンドル取付けねじ セット	ガラスライナー セット
六角レンチ (L型)4mm			

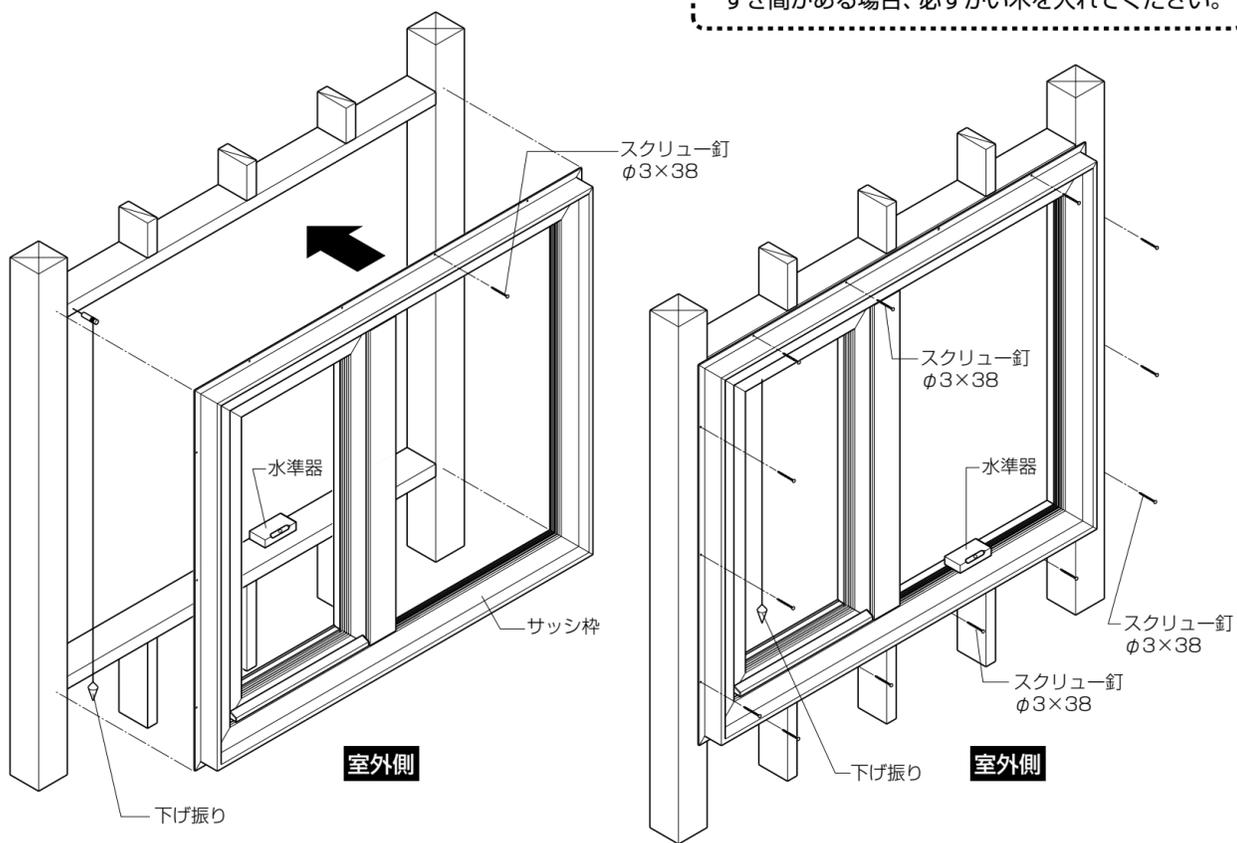
### ■取付け順序

#### 1 サッシ枠の固定

- ①開口部の水平・垂直を確認し、仮止めします。
- ②下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後固定します。

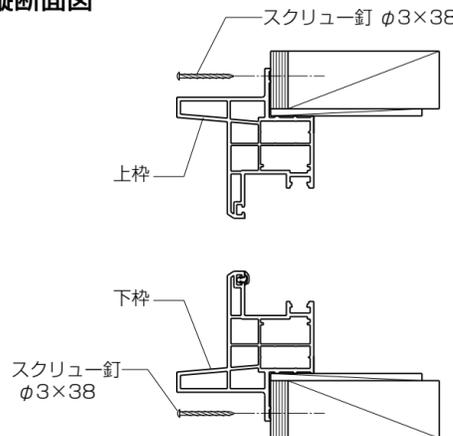
#### お願い

●躯体とサッシにすき間がある状態で取付けると、気密材の当たりが弱くなり、気密性が悪くなります。すき間がある場合、必ずかい木を入れてください。

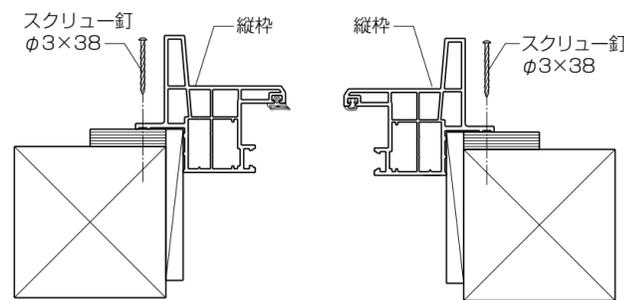


#### ■取付け詳細

##### ●縦断面図

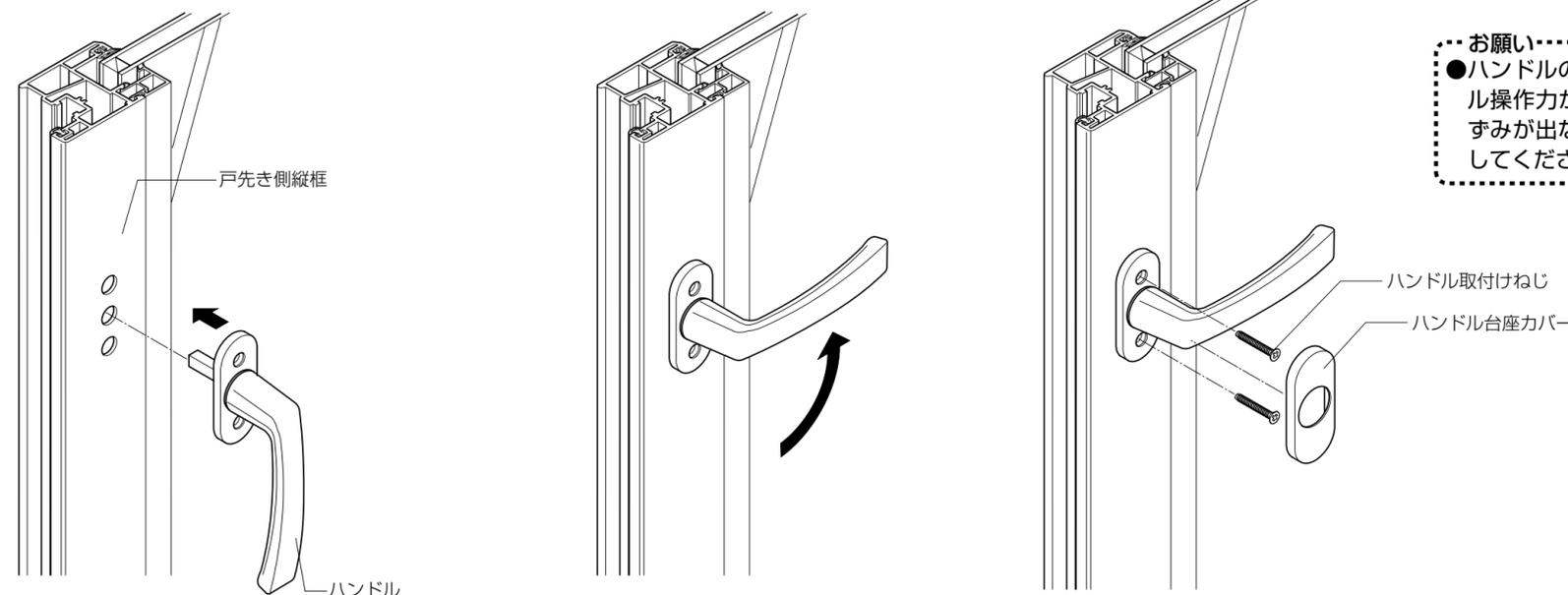


##### ●横断面図



#### 2 ハンドル取付け

- ①ハンドルを下図の方向に差込みます。
- ②ハンドルを90°回します。
- ③ねじで止め、ハンドル台座カバーを取付けて完了です。



#### お願い

●ハンドルのねじ止めが強すぎるとハンドル操作力が重くなります。枠の表面にひずみが出ないようにねじの締付けを調整してください。

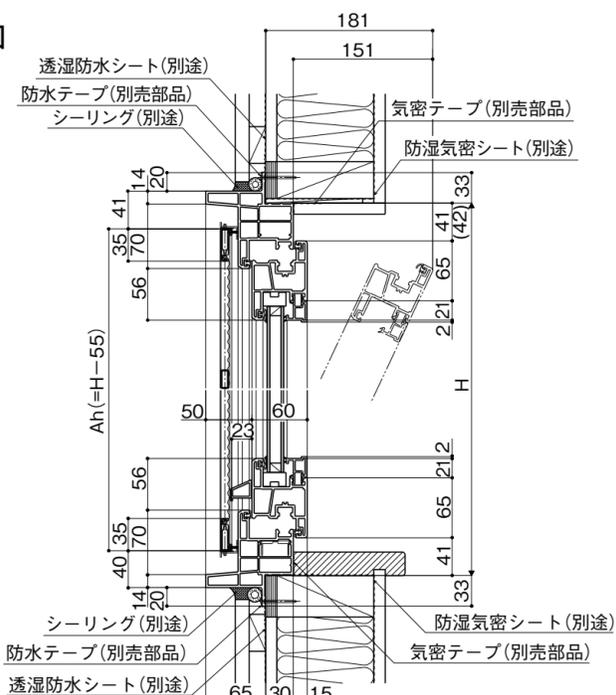
### 3 建付け調整

※調整方法は、以下の対処方法に従って調整してください。

ドレーキップ金物での建付け調整箇所一覧		現象	対処方法
<p>●ドレーキップ窓の金物は、右図の個所で障子の建付けの微調整が出来ます。ドレーキップ金物の調整は同梱されている六角レンチ(L型)4mm及びマイナスドライバーで行います。</p>		<p>■ 框の下部と枠の下部部品が当たる時</p>	<p>● カバーを外し、コーナーヒンジの調整穴にマイナスドライバーを差し込み、右図の方向に六角レンチを回して調整してください。</p>
<p>■ 障子の垂下がり</p> <p>※ガラスとセッティングブロックの間にすき間が出ている可能性があります。以下の方法で調整してください。</p> <p>● 戸先き下部側を上を持ち上げてセッティングブロックとガラスの間にすき間を作り、同梱部品のガラスライナーを差込んでください。</p>		<p>■ 上框の部品と上枠が当たる時</p>	<p>● コーナーヒンジの調整穴にマイナスドライバーを差し込み、右図の方向に六角レンチを回して調整してください。</p>
<p>■ 戸先き側縦框の上部と枠が当たる時</p> <p>● ステアームヒンジの調整穴に六角レンチを差し込み、右図の方向に六角レンチを回して調整してください。(ステアームヒンジの調整は障子を内開きの状態にして行ってください。)</p>		<p>■ 障子の引寄せが弱い時</p>	<p>● 障子の固定ギア(戸先きの上・中・下部、吊元中部)の調整穴に六角レンチを差し込み回して調整してください。(左右どちらかにまわし続けると±1mmにて調整できます。)(調整は障子を内開きの状態にして行ってください。)</p>
<p>■ 戸先き側の框と枠の部品が当たる時</p> <p>● コーナーベアリングとステアームヒンジの調整穴に六角レンチを差し込み、下図の方向に六角レンチを回して調整してください。(ステアームヒンジの調整は障子を内開きの状態にして行ってください。)</p>		<p>■ 戸先き側中間部・上部</p> <p>■ 戸先き側下部</p> <p>■ 吊元側中間部</p>	<p>● ステアームヒンジの調整穴に六角レンチを差し込み、右図の方向に六角レンチを90°回して調整してください。(ステアームヒンジの調整は障子を内倒しの状態にして行ってください。)</p>

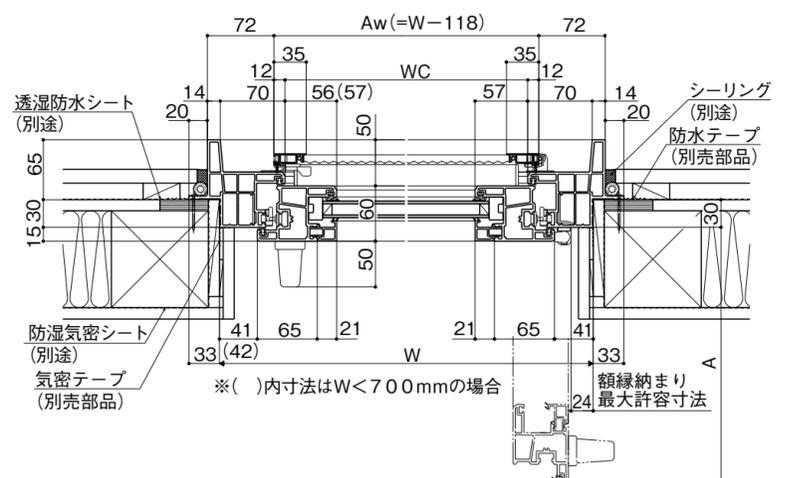
### ■ 参考納まり図

#### ● 縦断面図



※H≥1176mmは中棧付き網戸になります。  
 ※( )内寸法はH<600mmの場合

#### ● 横断面図



※( )内寸法はW<700mmの場合